

実証実験結果報告

- インターネット上での音楽・映像コンテンツの使用を特定 -

どんな研究？

- 2008年4月から約半年間、動画投稿サイトなどのメディアを対象として、音楽・映像の使用を特定する実証実験を行いました。
- 実際に主要投稿サイトから全新規投稿に匹敵する量のファイルを常時収集しロバストメディア探索技術による探索を行いました。

もたらされる変革

- ネット上のコンテンツでのロバストメディア探索技術の有効性が確認されました。
- 2008年12月から NTTデータが商用サービスを開始しました。
- ネット上での安全・適正なメディアコンテンツ流通に貢献します。

1. 実証実験の意義

ネット上のメディアコンテンツを特定 → 適正な利用を促進

BayTSP

ハリウッドスタジオなどを顧客にもつ

投稿サイトやP2Pサイトから自動収集する技術を開発

NTT

ロバストメディア探索を開発

別の音の重なりやテロップなどが重なっても精度良く元のコンテンツを特定することができる

NTT・BayTSPの共同実証実験で主要投稿サイトの新規投稿の自動全数チェックが可能に！

2. 実証実験における成果

規模：世界中の主要投稿サイトの新規投稿を処理できる性能を達成（→図1）

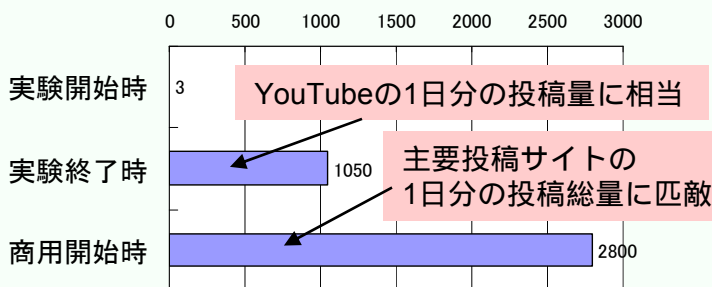
精度：ダイジェストなど短いコンテンツの組合せに対する検出率 1を向上（→図2）

事業：NTTデータによる RMS 技術を使った商用サービスが開始（2008/12）

（ 1 検出率 = 検出すべきもののうち正しく検出した割合 ）

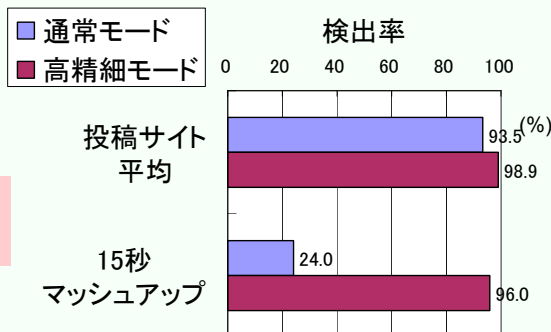
図1. 実証実験(2)での探索規模の向上

1日当たりの処理容量(クエリー×DBサイズ)[百万分時]



（ 2 DB 2000時間の場合 ）

図2. 実証実験(3)における探索精度の例



（ 3 所定条件における実験結果の一例 ）



関連文献

黒住 隆行, 永野 秀尚, 柏野 邦夫, “実環境で収録された映像断片をキーとする一致映像探索”, 電子情報通信学会 論文誌 D-II, VOL.J90-D, No.8, pp.2223-2231, Aug. 2007.

プレスリリース (サービスの提供を開始) : <http://www.nttdata.co.jp/release/2008/120100.html>

プレスリリース (実証実験を開始) : <http://www.ntt.co.jp/news/news08/0804/080422a.html>

連絡先: 川西隆仁(Takahito Kawanishi)

メディア情報研究部 メディア認識研究グループ